



* hvcの文字は、
フローレンス・ナイチンゲールの
サインから取り出したものです。

Eisai News

エーザイは「患者さまと生活者の皆様の喜怒哀楽を考え、そのベネフィット向上を第一義とし、世界のヘルスケアの多様なニーズを充足する」ことを基本とするヒューマン・ヘルスケア企業を目指して、その実現に邁進しています。

No.09-45

2009年10月30日

エーザイ株式会社

抗がん剤開発におけるクインタイルズ社との戦略的提携契約の締結

エーザイ株式会社（本社：東京都、社長：内藤晴夫）は、当社のがん関連疾患領域のプロダクトクリエーション戦略をより一層推進すべく、このたび、ヘルスケア・アウトソーシングにおける世界最大手のクインタイルズ社（本社：米国ノースカロライナ州、会長：デニス・ギリングス、以下「クインタイルズ」）と、当社が現在開発中の6種の抗がん剤候補化合物に関する戦略的な提携契約を締結しました。

本契約は、当社とクインタイルズが臨床開発のリスクをシェアしながら戦略的に協働するという新たなビジネスモデルであり、当社の有する6つの抗がん剤候補化合物〔eribulin（E7389）、E7080、ONTAK®、E7820、E6201、E7050〕の開発の確度、ならびにスピードを大幅に高めることを目的とします。クインタイルズの戦略事業開発部門であるノバクエストの抗がん剤開発専門チームのリーダーシップのもと、同社がこの6化合物について、11種類の適応症*におけるPOC（**P**roof of **C**oncept：創薬概念の検証）試験を推進し、当社は、既に着手している同化合物群の18種類の適応症開発*を継続して行います。（*印については、参考資料をご参照下さい）

当社は、がん関連領域において、低分子医薬、バイオロジクス医薬、治療用DNAワクチンなどの抗がん剤や支持療法に関わる治療剤など、多様な治療オプションを提供することをめざして、数多くの化合物の開発に取り組んでいます。これら抗がん剤の開発では、複数の適応に対して、いかに効率的にその有用性を見極めるかが重要な鍵となります。

今回の提携により、複数の候補化合物の複数の適応開発を同時進行することが可能となり、開発期間の大幅な短縮と確度の上昇が期待されます。

当社は、今回の契約を含めた総合的なプロダクトクリエーション戦略により、早期かつ確実に新規抗がん剤の開発を進めることで、がん患者様のアンメット・メディカル・ニーズの充足とベネフィットの向上に、より一層貢献してまいります。

以上

[参考資料として、候補品の適応、プロフィール、クインタイルズ社の概要を添付しています]

エーザイ株式会社 PR部

〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
TEL 03-3817-5120 (ダイヤル)
FAX 03-3811-3077

参考資料

1. 開発提携を行う 6 化合物と両社が開発する適応症

	クインタイルズ開発提携	エーザイ単独開発
エリブリン (E7389)	非小細胞肺癌(併用) Ph*-Ib/II 膀胱がん(併用) Ph-Ib/II	乳がん(単剤) Ph-III 前立腺がん(単剤) Ph-II 肉腫(単剤) Ph-II 非小細胞肺癌(併用) Ph-Ib/II 乳がん(併用) Ph-Ib/II
E7080	メラノーマ(併用) Ph-Ib/II 卵巣がん(併用) Ph-Ib/II	メラノーマ(単剤) Ph-III 甲状腺がん(単剤) Ph-II 肝細胞がん(単剤) Ph-Ib/II 子宮内膜がん(単剤) Ph-II 膠芽腫(単剤) Ph-II 肉腫(単剤) Ph-II 非小細胞肺癌(併用) Ph-Ib 腎細胞がん(併用) Ph-Ib/II
ONTAK®	メラノーマ(単剤) Ph-Ib/II	末梢性 T 細胞リンパ腫(単剤) Ph-III メラノーマ(単剤) Ph-II
E7820	大腸がん(併用) Ph-Ib/II	大腸がん(併用) Ph-Ib/II
E6201	乳がん(併用、トラスツズマブ治療後) Ph-Ib/II 乳がん(併用、アントラサイクリン、タキサン治療後) Ph-Ib/II	メラノーマ(単剤) Ph-Ib
E7050	肝細胞がん(併用) Ph-Ib/II 頭頸部がん(併用) Ph-Ib/II 胃がん(併用) Ph-Ib/II	胃がん(単剤) Ph-II

*Ph:フェーズ

2. 各化合物の概要

1) E7389

- 一般名 : eribulin mesylate (エリブリン メシル酸塩)
- 剤形 : 注射剤
- 適応候補 : 乳がん、非小細胞肺癌、前立腺がん、肉腫、膀胱がん
- 作用機序 : 微小管の伸長阻害

2) E7080

- 剤形 : 経口剤
- 適応候補 : メラノーマ、甲状腺がん、非小細胞肺癌、肝細胞がん、卵巣がん等
- 作用機序 : VEGF 受容体チロシンキナーゼ阻害

3) ONTAK®

- 一般名 : denileukin diftitox
- 剤形 : 注射剤
- 適応候補 : 末梢性 T 細胞リンパ腫、メラノーマ
- 作用機序 : ジフテリア毒素による細胞内のタンパク質合成阻害

本剤は、米国において「CD25（インターロイキン 2 受容体の構成要素）陽性の持続性もしくは再発性皮膚 T 細胞リンパ腫」の効能・効果で米国で承認されています。

4) E7820

- 剤形 : 経口剤
- 適応候補 : 大腸がん
- 作用機序 : 血管内皮細胞の接着分子（インテグリン $\alpha 2$ ）抑制による血管新生阻害

5) E6201

- 剤形 : 注射剤
- 適応候補 : 乳がん、メラノーマ
- 作用機序 : MEK-1/MEKK-1 キナーゼ阻害

6) E7050

- 剤形 : 経口剤
- 適応候補 : 胃がん、肝細胞がん、頭頸部がん
- 作用機序 : c-met、VEGF 受容体キナーゼ阻害

3. クインタイルズ社の概要

クインタイルズは、医薬品やバイオ製品などの臨床開発、営業・マーケティング、コンサルティングおよび投資ソリューションにおいて総合的なサービスを提供する企業です。患者さん、安全性、倫理に対し確固たるコミットメントを持って業務に専心し、約 23,000 人の従業員を擁し世界 50 カ国以上で事業展開をしています。クインタイルズは、変貌を遂げる時代環境の中で、リスクを管理し機会を捉えるために世界中の製薬・バイオ企業を支援しています。

クインタイルズは 2000 年以來、抗がん剤について約 640 本の臨床試験を実施しており、68 カ国における 13 万人以上の患者さんと約 2 万人の治験医に対する経験を有しています。また、今日、世界で幅広く処方されている抗がん剤の多くについて開発、商業化にも携わってきました。

クインタイルズ社の詳細は、ウェブサイト <http://www.quintiles.com> をご覧下さい。